

愛鳥関係者の交流の輪を広げよう

日本鳥類保護連盟 元福井県支部長 林 武雄・文

私は昭和 25 年、18 歳で日本鳥類保護連盟に入会し、今年で満 63 年になります。少年時代からの野鳥への趣味が買われて県職員勤務の大半の 26 年を福井県の鳥獣行政に捧げてきました。私の人生は、野鳥や自然にあこがれた幸せな人生でした。

昨年、私は傘寿（80 歳）を迎え、支部会員も高齢化したことから、お世話していた連盟の福井県支部を解散しました。そして、これまでに所蔵してきた野鳥や自然保護関係の図書 745 冊を地元の図書館に寄贈しました。また、三冊目の著書、『私の野鳥記・70 年の回想』を自費出版、お世話になってきた皆さんに贈呈しました。

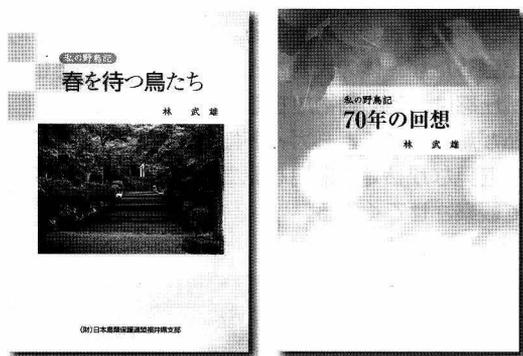
先般、連盟の北陸ブロック（富山、石川、福井）研修会の誘いを受け、石川県に出かけました。福井県からは 2 名が出席しましたが、富山、石川両県からは若手の皆さんが集まり、総勢 22 名、にぎやかなつどいとなりました。

連盟本部からは、室伏友三専務理事が出席され、連盟も少子高齢化の影響を受けて会員の減少や財政難に悩んでいることをお聞きしましたが、その再生に向けて取り組んでいるという力強いお言葉をいただき、参加者は元気をもらいました。これまで、連盟の事務局長や専務理事は民間から登用された人が少なかったために、民間の目線で運営を目指していただけることに、大きな期待をを持っています。幸い私も、高齢にはなりましたが、まだ気力もあり、皆さんのご支援を励みとして連盟の発展に努めたいと思

います。

そこで考えたことですが、連盟はこれまで、ごく限られた人たちと、愛鳥懇話会などで懇談することはあっても、ゆっくり話し合う機会はほとんどありません。このため、全国の会員や支部の人たちと交流する機会をぜひ実現したいと思います。お互いに野外活動はできなくとも、各地域の文化にふれ、おいしい酒や食べ物に親しむことで、連帯の輪を少しでも広げることができればと考えています。ぜひ、各支部間や有志による交流の呼び掛けを期待します。

最後になりますが、小著『私の野鳥記 春を待つ鳥たち』と『私の野鳥記 70 年の回想』の残部があります。ご希望の方には進呈しますから、ご連絡ください。



連絡先：

〒 915-0242 福井県越前市粟田部町 15-41

TEL&FAX：0778-42-0260

執筆者プロフィール

林 武雄（はやし・たけお）。1932 年生まれ。かつて福井県職員として 26 年間鳥獣保護行政に従事、昭和 30 年以來コウノトリの観察や保護に努め、くちばしの折れたコウノトリの保護にも関わった。連盟 元福井県支部長。